

# 関東教区の宣教を考える集いのご案内

## テーマ「互いに協力し、共通の課題に取り組み、交流を深める」ー北海教区から学ぶ「協同」の業ー

関東教区宣教部では、例年7月の海の日に「関東教区の宣教を考える集い」を開催し、教会が今担うべき宣教の課題について学んでいました。

2015年度と2016年度は「教会と子ども」をテーマに学び、2017年度と2018年度は「教会は『広場』になろう」を、2022年度は「沖縄は今」と「ナルドの壺献金は今」をテーマに学びを重ねました。

社会が急激に変化し、それに伴って私たちのあり方も大きな影響を受けています。その中で、困難の中に置かれ助けを必要とする方々の声が届きにくくなっているように感じます。社会の中で教会の果たす役割がますます重要になっています。

同時に、そのような大切な宣教の課題を主より委ねられている中で、教会もまた困難の中に置かれているとも言えるでしょう。主より委ねられている大切な使命に取り組みたいと願いつつ、教会の実際を考えたときに、新たな一歩を踏み出すのにためらいを覚えることもあることでしょう。でも、一つ一つは困難を覚えても、みんなで取り組むならば課題に取り組むことができるのではないのでしょうか。

日本基督教団北海教区が主より委ねられている地の面積は約83,424 km<sup>2</sup>にも及び、九州教区と四国教区を合わせたほどの面積を、60の教会・伝道所が互いに協力し、共通の課題にとりくみ、交流を深めています。その多くは規模の大きくない教会であり、教会と教会の距離も離れています。また、冬の厳しい気候もあります。そのような中で、一つ一つの教会が孤立することなく、互いに宣教協力を励んでいる姿から学びたいと願っています。

2023年度の関東教区「宣教を考える集い」では、北海教区の実際に学びましょう。そして、関東教区においても、祈りを合わせ、力を合わせて宣教の課題に取り組む「協同性」の実現を求めたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。（宣教部委員長 飯塚拓也）

**日時：2023年7月17日(月・祝日)10時15分～15時30分**

**場所：日本基督教団大宮教会**

**内容：主題講演「北海教区の宣教協力の取り組み」**

**原 和人牧師（札幌手稲教会牧師・北海教区議長）**

**参加費：無料（昼食は各自ご持参ください）**

**※子どもも一緒に参加しましょう！**

子どもたちにも参加してほしいと願っています。一緒に礼拝した後は、子どもプログラムを楽しみ、他の教会の子どもたちと友だちになりましょう。

**※交通費補助：申請により往復交通費6千円以上の方には補助をいたします。**

◎今回 zoom 設定はありませんが、後日教区のホームページに講演動画をアップします。

【このチラシを教会ごとに印刷くださって、教会内で配布いただければ幸いです】